

科 目	受 験 生 記 入 欄			(ア)	(イ)
音楽学（音楽学） 2枚のうちの1枚目	科 専攻	声種： 楽器：	受 験 番 号 番		

以下の5部門の中から2部門を選び、選択した各部門の3問題中2問題について答案を提出しなさい。合計4問題の答案は、必ず1問題ごとに別紙一枚を用い、用紙のはじめに選択した問題の部門と番号を明記すること。

◎ 音楽美学

1. 「意図という誤謬 intentional fallacy」について、音楽研究の文脈で説明しなさい。
2. 「解釈の代わりに、われわれは芸術の官能美学 erotics を必要としている」（スザン・ソンタグ著『反解釈』より）とはどのような主張か。あなたの考えを具体的に述べなさい。
3. 嵐康著『声無哀楽論』における著者の主張について説明し、その音楽思想史的な位置づけを試みなさい。

◎ 音楽理論

1. 無調の概念について説明しなさい。
2. 江戸時代の日本で行われた音律研究について、具体例を挙げて説明しなさい。
3. 以下の項目から四つを選び、説明しなさい。

(1) ランディーニ終止	(2) Maurice Emmanuel 『音楽言語の歴史』
(3) Jean de Murs (Johannes de Muris)	(4) Greater Perfect System
(5) ヘクサコルド	(6) アレン・フォート 『無調音楽の構造』
(7) 差音	(8) Hucbald de Saint-Amand
(9) Heinrich Schenker	

◎ 西洋音楽史

1. 記譜法の変化が楽曲創作に影響を与えた例について、具体的に説明しなさい。
2. 次の六つの歴史的出来事から三つを選択し、それらが音楽に及ぼした影響について論じなさい。

(1) トリエント公会議	(2) ナポレオン戦争
(3) 三月革命	(4) 第一次世界大戦
(5) 12世紀ルネサンス	(6) 冷戦終結
3. 19世紀の西洋芸術音楽における音楽雑誌の役割について論じなさい。

◎ 日本・東洋音楽史

1. 20世紀の日本・東洋諸国において、特定地域の音楽が広く国内に普及した例を挙げ、その要因を説明しなさい。
2. アマチュアの音楽活動に職業的音楽家がどのように関与してきたかについて、ジャンルや時代を特定して論じなさい。
3. 日本の民俗芸能に関わる次の用語のうち五つを選んで説明を加えるとともに、その音楽史的または芸能史的意義を述べなさい。

科 目	受 験 生 記 入 欄			(ア)	(イ)
音楽学（音楽学） 2枚のうちの2枚目	科 専攻	声種： 楽器：	受 験 番 号 番		

- (1) エイサー (2) 延年 (3) 諧女（ごぜ）  
(4) 田遊び (5) 地方舞楽 (6) 念仏踊り  
(7) 花田植（囃し田） (8) 風流（ふりゅう）踊り (9) 反問（へんぱい）  
(10) 山伏神楽

◎ 音楽民族学

1. 民族音楽学は「音楽の変化」をどのように理論的に捉えてきたか、一つ以上の研究例を挙げて論じなさい。
2. チャールズ・シーガーが提起した、記述的楽譜 descriptive music writing と規範的楽譜 prescriptive music writing の概念を説明し、その概念から派生する問題を任意にとりあげて、具体例を挙げながら論じなさい。
3. Steven Feld, *Sound and Sentiment* (1982、邦訳書『鳥になった少年』) がその後の民族音楽学に及ぼした影響を、複数の著作 (Feld 自身の著作を含めてよい) を挙げて論じなさい。